

令和8年産サツマイモ基腐病の防除暦

持ち込まない(健全苗の確保)、増やさない(発病株の除去、適期防除)、残さない(残渣の分解促進)を徹底しましょう!

月	育苗	本ほ
1月	育苗・苗消毒	ほ場準備
2月	育苗管理と採苗	排水対策
3月	苗消毒	土壤消毒
4月	苗の上部まで浸漬 調整後の薬剤は、日光や汚れなどで急速に分解するため、1日で使い切る	適度な土壤水分と地温を確保し、各薬剤の使用方法に従い土壤消毒を行う。
5月	片付け・残渣処理	植付け後の管理
6月	育苗が終了したら、できる限り残渣を持ち出す。 地温が高い時期に複数回耕耘し、堆肥や分解資材を活用し、残渣分解を促す。 トラクターの走行は低速で、ロータリーは高速回転とし、残渣を碎くことを意識する。	発病株の抜取り
7月	苗床の土壤消毒	薬剤散布
8月	薬剤による土壤消毒は、適度な土壤水分と地温を確保し、処理後はビニル等で被覆する。 土壤還元消毒を実施する場合は、農研機構の「サツマイモ基腐病を防除する苗床の土壤還元消毒技術標準作業手順書」を参考に実施する。	薬剤散布
9月	種いもの消毒	4回目以後は、発生状況に応じて、薬剤をローテーション散布。特に長雨や台風等の際は必ず薬剤を散布する。
10月	健全ほ場から採取した種いもを使用。 以下の手順で種いもの消毒を実施(※)。	4回目以後は、発生状況に応じて、薬剤をローテーション散布。特に長雨や台風等の際は必ず薬剤を散布する。
11月	収穫→水洗→なり首・尾部除去・選別→種芋消毒 なり首・尾部除去 種芋消毒	収穫と片付け
12月	貯蔵 選別 苗床へ	早期収穫
	種芋消毒剤 トッヅンM 水和剤	残渣処理
	病害虫名 基腐病	
	濃度 200~500倍	
	使用方法 30分間採苗用種いも浸漬	

※茎根腐細菌病の発生が懸念される場合は県版マニュアルを参照。

農薬は、必ずラベルの登録内容を確認して適正に使用しましょう。

令和7年12月 宮崎県

持ち込まない対策

残さない対策